

自治体名 / 課題	福岡県福岡市 / 福岡市商店街の振興
アイデア名	唐人町商店街（福岡市）の活性化案： 2つのStageによる取り組み
チーム名	中村学園大学流通科学部 浅岡 14B（3年）・15B（2年）ゼミ



人とつながる・未来とつながる商店街

商店街は、地域住民に身近な商品やサービスを提供するだけでなく、地域コミュニティの担い手として欠かせない存在。

とはいうものの現実には……。

他の地域と同様、福岡市の商店街には規模が小さい、古い、核となる店舗が不足、経営者の高齢化、後継者不足…などの課題がありました。そこで、サービスマーケティングを学ぼうとした私たちは唐人町商店街が活性化するようアイデアを組み立てました。



The reason why?

福岡市の公開データを読んでいくと商店街にはさまざまな課題があることがわかりました。しかし、学生のわたくしたちにはなかなか実感できません。そこで、対象とした唐人町商店街を歩いたり、商店街組合の役員の方々や買物客にインタビュー調査を実施したりして実態の把握に努めました。福岡地域戦略推進協議会 / イノベーションスタジオ福岡が主催するワークショップにも参加し、多様なバックグラウンドをもつ市民の方々と意見交換も行いました。そこで、浮かび上がってきたのが3つのターゲット。これまで、店主たちが重視していた①買物客に加えて、福岡ソフトバンクホークスの本拠地である福岡 ヤフオク! ドームに近いから②ホークスファン、福岡はMICE もさかんでヒルトン福岡シーホーク（ホテル）への送迎バスが地下鉄唐人町駅から発着していることなどから③外国人観光客を加えることにしました。

わたくしたちが考える「商店街の振興・活性化」とは、商店街や各店舗にとっては来街者の増加により売上や利益が増加すること、買物客が商店街に愛着を感じ、ホークスファンや外国人観光客が、商店街と、あるいは来街者同士の交流が促進されている状態です。進展し続けるために商店街や各店舗がターゲット顧客のニーズに対応する力を持つことを重視し、このゴールを実現する Key Concept を「人とつながる・未来とつながる商店街」と設定しました。



唐人町は江戸時代に福岡藩や佐賀藩が参勤交代のために使った唐津街道を行き交う人たちに商売を行った町屋を起源とするアーケードのある商店街。近くには福岡藩が海からの要塞として建立したと見られる8つのお寺が商店街を囲むように点在し商店街の北側1km圏内には福岡 ヤフオク! ドーム、ヒルトン福岡シーホーク（ホテル）があります。

唐人町は江戸時代に福岡藩や佐賀藩が参勤交代のために使った唐津街道を行き交う人たちに商売を行った町屋を起源とするアーケードのある商店街。近くには福岡藩が海からの



What we want to do

商店街の活性化のアイデアを
2つのステージで構成しました。

Stage 1

商店街が、買物客をターゲットとして魅力や価値を創出し、買物客の増加と売上向上を図るために、わたくしたちと店主と一緒に「7Pシート」を用いて、品揃え、価格設定、店舗の外装・内装、商品陳列、顧客対応、営業時間などを見直し、改善策を考えます。

2017年4月から分析を行い、7月までに改善策を考え、順次、実行に移します。

Procedure

【7Pシート】

分析項目	分析項目		改善策
	強み	改善が必要な項目	
本質的なサービス商品			
物的要件に関するサービス商品			
人的要件に関するサービス商品			
プロセスに関するサービス商品			
価格・コスト			
提供時間・場所			
プロモーション			

Stage 2

商店街全体の取り組みとして、ターゲットを3つに広げ、認知度の向上、来街者の増加と売上向上につなげます。それぞれのターゲットに対して2つずつのアイデアが商店街との合意を得ました。順次、実現に向けてプロトタイプ、実証実験などを進めてまいります。

①買物客に向けて	②ホークスファンに向けて	③外国人観光客に向けて
A) 未来へつなげ!!子どもPR隊 2017年1学期中に小3向け、小6向けの企画を実現	C) ホークスにいちばん近い商店街で鷹唐懇親会 2017年2月までに具体案を決定し、オープン戦の際に実証実験。	E) 唐神さん八寺巡り 2017年3月までに関係者と調整を行い、4月から試行
B) お取り置き&はしごシステム 2017年9月までに具体案を決定	D) セバ交流せ〜ん? 2017年12月までに具体案を決定	F) 外国人観光客対応の接客カードの作成 2017年9月までにカードを作成。

Collaboration

ゼミの仲間のひとりが、福岡市のHPで福岡市が福岡地域戦略推進協議会と連携して実施する「商店街活性化パートナー発掘事業」の募集を見つけ、唐人町商店街が採用されていたことからプロジェクトが開始しました。

福岡市が提供するオープンデータを活用し、11月に同商店街振興組合で開催されたワークショップ（アイデア創造イベント）にも参加させていただきました。このときに創出されたアイデアがヒントになったものもあります。

今回の取り組みは、学・地・産・官の連携により成果を挙げることができましたが、福岡市は関係者をつなぐ役割を果たしてくださいました。担当者はゼミに何度も足を運んでサポートしてくださいましたが、そのサポートは、わたくしたちが主体的に活動できるように、わたくしたちがサポートを求めたり、行き詰ったりしたときに行われ、アクティブ・ラーニング型の学習としての成果も得ることができました。3月末には、交通系ICカードを用いた実証実験を実施しますが、このアイデアや企業への依頼などは市の協力がなければ実現できませんでした。

COGにおいて最終公開審査にまで進むことができたのは担当者のお力添えによるものと深く感謝しています。

Close-up !!

人の流れを変えることができるか...

40,000人弱を収容することができる福岡 ヤフオク!ドームの地下鉄の最寄り駅は唐人町駅。多くの観客は商店街の西側の道路を使い、商店街に立ち寄ることはほとんどありません。

この人の流れを変えることができるか...

3月25日(土)のオープン戦に際し、わたくしたちは交通系ICカードを用いた実証実験を行います。

わたくしたちのアイデアは現在もなお 進行形 です!!